



翔工

大分大学理工学部(工学部)
同窓会機関誌

第
35
号

大分大学理工学部(工学部) 同窓会「翔工会」
〒870-1192 大分市旦野原 700 大分大学理工学部内
電話 097-554-7823
令和7年3月17日発行

機関誌「翔工」第35号の発行にあたって

同窓会長 戸 高 孝



機関誌「翔工」第35号をお届けいたします。同窓生の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。また、平素より理工学部同窓会の活動に対しますご支援とご協力に心より厚くお礼申し上げます。

今年度は学生の支援事業として、理工学部の学生に対して4月に最先端の研究者の講演会を開催することとし、東京理科大の山本貴博教授に講演をお願いしました。多くの新入生が参加してくれて、山本先生が大分で活動されてる事業の一つであります「サイエンスフェス」の支援グループができました。また、ロボットコンテストやベンチャービジネスコンテストに興味があり、コンテストに参加希望の学生を支援する活動を開始しました。今年の採択結果は、ロボコンが1件、ビジコンが2件とロケット関係が1件となりました。まだ始めたばかりで成果はこれからですが、引き続き学生を元気にする取り組みを実施していく予定です。このような企画の中で、大分大学理工学部の学生がイキイキと活動している様子を、同窓会ホームページで発信できるようにしていきたいと考えております。また、コロナ禍が終焉を迎え、大学院生の国際会議出席状況も元に戻ってきました。同窓会では国際会議の参加のための旅費の支援事業を理工学部や理工学部後援会のご協力を得ながら実施しています。

昨年度の機関誌第34号において、令和5年に理工学部が理工学科9プログラムに改組されたことをご報告いたしました。今年度新たに、デジタル推進人材の育成の必要性から、理工学部に「DX人材育成プログラム(定員40名)」が設置されました。これで、10プログラム体制となりました。この定員増により受け入れ施設の一つとして、旧大分大学生協の建屋の改修が行われました。今後室内の整備が行われると伺っております。また、大学院の博士前期・後期課程は、令和7年4月から改組することになり、4月からの新入生受入れに向けて準備が始まっています。

理工学部へ改組されて、卒業要件には含まれない選択科目ですが、新たにキャリア形成1(1年次生対象)とキャリア形成2(2年次生対象)が今年開講されました。学生の思考力・行動力を伸ばす手助けを行い、3年次のインターンシップに向けて、企業に「ぜひうちに来てください」と言われるには、学生時代にどのように自分を磨いたらよいのか、考え方を、習慣を変え、自分を変えていく方法を身に付けるため、グループワーク形式で行っています。また、大分県内企業のOB・OGの若手社員の方との自由トークなども、大分県商工観光労働部産業人材政策課のご協力を得て実施しています。

以上は、大学内での活動でございますが、電子メールを利用した情報伝達の拡大やホームページの利活用を行い、より迅速・正確に会員の皆様との情報交換が可能な体制を整え

たいと考えて、ハガキによる会員のメールアドレスの調査を今年1月に実施いたしました。現在会員数1万2千人中、600名程度の会員よりご連絡をいただいております。この場をお借りいたしまして、ご協力にお礼申し上げます。次年度も実施シデー

タを充実させていきたいと考えております。

最後になりましたが、同窓会の活動に、より一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、同窓生の皆様のご発展を祈念申し上げます。

学部長からのご挨拶

理工学部長 理工学部教授 小林 祐 司



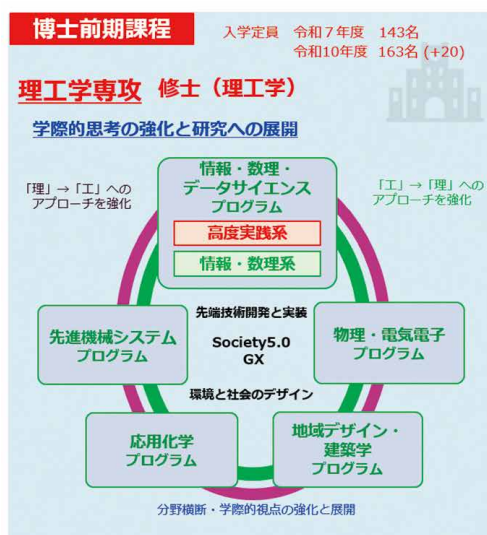
同窓生の皆様、いかにお過ごしでしょうか。日頃より本学ならびに理工学部へのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、学部長就任2年目(2期目)が終わろうとしています。昨年度もお知らせした通り、令和5年4月に改組後、令和6年4月に新たに「DX人材育成基盤プログラム」を設置、40名の受け入れが開始され、1学科(理工学科)10プログラムとなりました。そして、令和7年4月に工学研究科が理工学研究科へと改組されます。今ある学部及び研究科のリソースをもとに、社会的課題と要請に応える教育プログラムや体制を目指して理工学研究科へ再編することとなりました。博士前期課程(修士課程)に5プログラム(情報・数理解・データサイエンスプログラム<数理解・情報系及び高度実践系>、先進機械システムプログラム、物理・電気電子プログラム、応用化学プログラム、地域デザイン・建築学プログラム)、博士後期課程(博士課程)に3領域(基礎科学領域、先進技術領域、環境デザイン領域)を置く組織構成となっています。ご承知のとおり、今日の社会情勢は不確実性が極めて高く、教育や研究は柔軟性や機動性が求められるようになっていきます。とりわけ、科学技術分野が果たす役割が大きくなっていると言え、諸課題に対応できる教育・研究体制を構想しました。また、こうした状況下、学部長就任時に構想した、カーボンニュートラル、グリーン分野の強化、そして持続可能な社会の実現に貢献するための「先端技術・GX研究センター」設置が令和6年

度概算要求において認められました。このセンターは、全学的な連携と機能拡充を進めています。大学こそ社会の声に敏感である必要があり、このような組織の構想は、社会的な要請に答え得るものであると同時に、最終的には大学や学部における教育プログラムのあり方を検討することにもつながる重要な取り組みです。

一方、中教審の「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」の答申案が出ていますが、そのなかで、大学院教育の改革、研究力の強化、地域のアクセス確保・人材育成のための協議体構築などのほか、少子化に対応するための「国立大学の学部定員規模の適正化」や「再編」が求められています。地方国立大学は、「地域に必要とされているか?」がまさに問われている、そう言えるのではないのでしょうか。必要とされない大学は確実に削減の対象となります。高等教育は日本社会をより良くしていくためには欠かせないものです。そういった理解を得るためにも、我々大学の構成員一人一人が問題ひとつひとつを直視し、その対応に当たらなければならないのではないと言えます。他方、今一度皆様にも「高等教育」の重要性についてお考えいただければと思っています。

国立大学を取り巻く環境は年々厳しくなっています。本学においても、研究力強化や活性化、機能の強化を構想し、様々な取り組みが行われていますが、どのような取り組みを行ったとしても、地域社会から必要とされていなければなりません。そのためにも、皆様のご支援、ご指導がどうしても欠かせません。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



同窓会連合会行事報告

「大分大学ホームカミングデー 2024」

同窓会会長 戸 高 孝

「大分大学ホームカミングデー2024」が昨年に引き続き、11月4日に旦野原キャンパスB-Forêt（ビ・フォーレ）で開催されました。県内外から多くの同窓生が集まり、学部等を越えた同窓会相互の交流を深めました。交流会では北野正剛学長と秦同窓会連合会会長のご挨拶の後、各学部長より現状等についての報告があり、相互理解を深めることができました。続いて各同窓会の代表から近況報告がありました。翔工会からは、大分支部の塚本賢治副支部長にご出席いただき、近

況報告をしていただきました。懇親会では、懐かしい恩師や旧友と交流を深めることができました。また、学生サークル邦楽部による華やかな演奏と「管弦楽団 Espresso」による表現豊かな演奏が披露され、会場は大きく盛り上がり、参加者全員が再会を喜ぶとともに楽しい時を共有することができました。

（参考： <https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/topics/2024-067.html>, 2024 Jan.）



交流会での学長挨拶



交流会での秦同窓会連合会会長の挨拶



交流会での学生サークルによるパフォーマンス

祝 叙 勲

同窓会副会長 エネルギー工学科 昭和55年卒 松 尾 孝 美

旧エネルギー工学科および生産システム工学科エネルギーコースの卒業生の皆様に嬉しいお知らせがあります。江崎忠男先生と古川明徳先生が令和6年春の叙勲において、瑞宝中綬章を叙勲されました。令和6年5月13日と14日に令和6年春の勲章・褒章伝達式及び令和6年春の勲章伝達式が開催されました。江崎先生と古川先生は5月13日にホテルニューオータニ東京で勲記と勲章伝達式と皇居での拝謁を受けられました。誠にありがとうございます。同じ会場で、石橋美枝子氏（俳優：(芸名) 原田美枝子）が紫綬褒章を受章されたとのことです。江崎忠男先生は、大分大学助教授および教授として超電導工学の教育研究に従事され、さらに工学部長として大分大学の発展のために尽力されました。古川明徳先生は、大分大学助教授から九州大学教授として流体力学の教育研究に従事されたのち、大分高専校長として再度大分に着任され、大分県の工業技術の発展に貢献されました。

さらに、エネルギー工学科およびエネルギーコースの江崎

研究室メンバーで、江崎忠男先生の叙勲祝賀会を令和6年12月14日に大分センチュリーホテルにて催しました。研究室卒業生で、メールアドレスが登録されている方、比較的初期の卒業生、大分近郊に在住の方を中心に連絡して、お集まりいただきました。遠くからは、宮城県、茨城県、滋賀県からも、お忙しい中、ご出席いただきました。また、研究室所属だった末光治雄先生にもご参加いただきました。当日は、卒業生の先生への祝辞に始まり、近況報告をいただき、江崎先生も卒業生の多彩な活躍に目を細めていました。当日の写真を掲載します。また、当日は所用などでご参加できなかった方には、ご祝辞や記念品賛同をいただき、ありがとうございました。本来ならば、江崎研究室の全員に連絡すべきところでしたが、ご連絡の届いていない方には、大変申し訳なく存じます。末筆ではございますが、卒業生の皆様の方々の発展を祈念申し上げます。



江崎先生あいさつ



叙勲祝賀会全体写真

令和6年度評議員会報告

同窓会会長 戸 高 孝

令和6年12月25日（水）に「翔工会」評議員会がオンライン（Zoom）で開催されました。今年度は昨年に引き続き対面での開催を予定しておりましたが、会計監査が大幅に遅れ年末となってしまいました。この場をお借りしてお詫びいたします。会計士監査が終わり次第の日程調整となりましたが、OB監査は令和7年1月までかかり、後日承認をいただきました。次年度はこのようなことが無いようにしたいと思います。

今年度は、4月3日に東京理科大学の山本貴博教授を招き学生対象の講演会を実施しました。新入生も複数名出席し、参加者合計は60名でした。次年度以降も講演会の企画を続ける予定です。また、学生の研究や起業家精神を啓発し、同時に自ら行動する学生に対して、ロボットコンテストやビジネスコンテスト等の活動支援を行いました。採択したのは、ロボットコンテストが1件、ロケットコンテストが1件とビジネスコンテストが2件です。成果に関しましてはホームページで公開予定です。

さて、社会情勢も大きく変わり、コミュニケーション手段も多様化していることから、従来の紙媒体の郵送ではなく、電子メール等を利用した情報伝達の拡大やホームページの利活

用を充実させ、より高速・正確に会員や在学生との情報交換ができる体制を整えるため、名簿管理システムの導入を検討することになっております。この検討を行うにあたり、今年の1月からグーグルフォームを用いて会員の皆様の電子メールアドレスの収集を開始しました。事務局の負担が大きくなっておりますが、役割分担や分業により運営していきたいと考えております。以上ご報告いたします。



評議員会風景

同窓会活動状況

令和6年度の活動状況および現在の理事、評議員の名簿を以下に掲載いたします。

■ 活動状況

§ 令和6年4月3日(水)

東京理科大学山本貴博教授 講演会
「科学技術×あなたの想い=□」
(理工大講義棟:104号教室)

§ 令和6年4月17日(水)

活動説明会(ロボットコンテスト&ニュービジネスコンテスト)
(203号教室)

§ 令和6年7月10日(水)

第1回 理事会 (オンライン開催)
議題

- (1) 役員の交代について
- (2) 令和5年度事業報告・収支決算(案)について
- (3) 令和6年度事業計画・予算書(案)について
- (4) 学生へのプロジェクト活動支援事業について
- (5) 会員管理・メール配信システムの導入について
- (6) 第1回同窓会連合会役員会報告
- (7) 同窓会および同窓会事務局に関連する諸問題について
- (8) その他

§ 令和6年11月4日(月)

大分大学ホームカミングデー2024開催
(学生交流会館:B-Foret)

§ 令和6年12月10日(火)

第2回 理事会 (オンライン開催)
議題

- (1) 令和5年度監査報告について
- (2) 令和6年度評議員会の開催について
- (3) 機関誌「翔工35号」の編集について
- (4) 卒業祝賀会ならびに記念品について
- (5) 令和6年度および7年度の学生の支援事業について
- (6) その他
 - ・卒業生の住所調査について

§ 令和6年12月25日(水)

第1回 評議員会 (オンライン開催)

議題

- (1) 令和5年度事業報告
- (2) 令和5年度決算報告・監査報告
- (3) 令和6年度事業計画(案)
- (4) 令和6年度予算書(案)
- (5) 今後の同窓会の活動・体制や運営について
 - ・名簿管理システムの導入について
 - ・同窓会主催の講演会について
 - ・理工学部学生の活動支援事業について
 - ・令和6年度同窓会連合会での活動について

§ 令和7年1月29日(水)

第3回 理事会 (オンライン開催)
議題

- (1) 機関誌「翔工第35号」の編集について
- (2) 卒業祝賀会および卒業記念品、退職記念品について
- (3) OB監査報告
- (4) 令和6年度評議員会報告
- (5) 講演会の開催について
- (6) 役員の交代について
- (7) その他
 - ・卒業生の住所調査について

§ 令和7年3月中旬

第4回 理事会 (オンライン開催)

§ 令和7年3月17日(月)

機関誌「翔工第35号」発刊予定

§ 令和7年3月25日(火)

卒業生祝賀会開催予定

■ 支援助成事業等

§ 学科・留学生補助:留学生友の会(年会費)
理工学部国際交流助成事業
ロボコン・ビジコン
サイエンスフェス
各部会の学科行事補助(講演会補助など)

・卒業証明書の問い合わせについて

最近、同窓会に卒業生から卒業証明書の問い合わせが多く見られます。同窓会では証明書等の発行業務は行っておりませんので、卒業証明書等のお問い合わせやお申込みは、下記にお願いいたします。

住所: 〒 870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学理工学部学務係
電話: 097 - 554 - 7757 または、7758

■理事名簿

会 長 戸高 孝 (電気昭58卒)
 副会長 松尾 孝美 (エネ昭55卒)
 会 計 楠 敦志 (電子平2卒)
 顧 問 新見 昌也 (機械昭59卒・61院修了)
 斎藤 国壽 (機械昭53卒)
 森 勝浩 (機械昭63卒)
 藤澤 徹 (電子平5卒・7年院修了)
 雲井 将文 (電気平2卒・4院修了)
 吉野 清己 (機械昭52卒)
 菅木 禎史 (電気平3卒・5院修了)
 江口 正一 (エネ昭54卒・56院修了)

理 事 斎藤 晋一 (エネ平2卒・4院修了、機械部会長)
 〃 石川 涼介 (修士課程在学、機械副部会長)
 〃 石原 侑栄 (修士課程在学、機械代表理事)
 〃 原 正佳 (電気平3卒・5院修了、電気部会長)
 〃 槌田 雄二 (電気平4卒・6院修了、電気副部会長)
 〃 佐藤 尊 (博士課程平23修了、電気代表理事)
 〃 西島 恵介 (組織平1卒・3院修了、組織部会長)
 〃 賀川 経夫 (組織平3卒・5院修了、組織副部会長)
 〃 足立 徳子 (組織平5卒、組織代表理事)
 〃 牛ノ濱三久 (応化平7卒・9院修了、化環部会長)
 〃 一色由貴乃 (修士課程在学、化環副部会長)
 〃 李 新宇 (修士課程在学、化環代表理事)
 〃 黒木 正幸 (建設平1卒・3院修了、建設部会長)
 〃 富来 礼次 (建設平10卒・12院修了、博士課程15修了、建設副部会長)

〃 秋吉 善忠 (建設平18卒・20院修了、博士課程24修了、建設代表理事)
 〃 長友 幸也 (修士課程在学、福祉部会長)
 〃 築山 奈津 (修士課程在学、福祉副部会長)
 〃 木村 律 (修士課程在学、福祉代表理事)
 〃 桃田 知弘 (修士課程在学、数理科学部会長)
 〃 来馬 右樹 (修士課程在学、数理科学副部会長)
 〃 丸尾 岳 (修士課程在学、自然科学部会長)
 〃 米良 天翔 (修士課程在学、自然科学副部会長)

■評議員名簿

大分支部 支 部 長 飯星 允規 (電気平17卒・19院修了)
 副支部長 塚本 賢治 (知能平19卒・21院修了)
 副支部長 東 宏治 (エネ平11卒・13院修了)
 福岡支部 支 部 長 小田 誠雄 (組織昭59卒・61院修了)
 副支部長 上田 和徳 (建設平3院修了)
 副支部長 深田 啓輔 (化環平5卒・7院修了)
 熊本支部 支 部 長 柿下 耕一 (電気昭61卒)
 副支部長 水野 節 (機械平14卒・16院修了)
 副支部長 本田 恭久 (福祉建築平20卒)
 大阪支部 支 部 長 平岡 学 (機械昭63卒・平2院修了)
 副支部長 橋本 芳典 (電気平12卒・14院修了)
 副支部長 中矢 繁芳 (福・機器平16卒・18院修了)
 東京支部 支 部 長 柏原 康彦 (機械昭56卒)
 副支部長 後藤 正徳 (エネ昭57卒)
 副支部長 豊田 耕一 (電気昭58卒)

お 知 ら せ

・退職者の紹介

数理学プログラムの中康彦教授、大隈ひとみ准教授、電気エネルギー・電子工学プログラムの佐藤輝被准教授、水鳥明助教、梅田清技術職員、加来康之技術職員、基盤技術支援センターの西田健一技術職員、知能情報システムプログラムの高橋志乃教務職員、学術情報拠点・情報基盤センターの中島順美技術職員が令和7年3月をもって退職されます。

・学位取得者の紹介

令和5年度博士学位を取得された方々を紹介いたします。
 (学位記番号順・敬称略)
 中川翔吾、日高幸治

訃 報



次の方の訃報に接しました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

電 子 昭 63 年 卒 野 上 敬 造 様
 (令和5年9月27日)

研究室だより

電気電子工学専攻 高橋・原研究室 M1 岡 陸 央

私たちの所属する知能制御システム研究室では、高橋将徳教授、原正佳助教のご指導の下、博士前期課程4名、学部生7名で日々切磋琢磨して研究に励んでいます。また、山本一真技術職員より2号館5階の研究室と一緒にプログラミングPythonをご教授頂いています。さらに、強化学習の研究のアドバイスを頂いています。

日頃はテーマごとに研究して、ゼミは週に一回行っています。ゼミでは指導教員と学生で活発な議論をかわし、研究のアイデアを積極的に出し合っています。そのため、研究室は風通しが良く、打ち解けた雰囲気になっています。以下に今年取り組んだ研究をいくつか紹介します。

・イベントトリガ制御の活用

近年、超高度情報化時代に伴い、ネットワーク化制御が目立っています。ネットワーク化制御を用いることで制御器と制御対象が離れていても制御対象の制御を行うことができます。しかし、通常のネットワーク化制御は常に情報の更新が行われているので、不要な情報の更新も行われています。この意味で、不要な通信コストが生じるという問題点があります。この問題点を解決するための有力な手法としてイベントトリガ制御が提案されています。イベントトリガ制御は、操作

量の更新を必要とするときにのみ制御器とのデータの送受信を行う方法で、通信コストが削減できると期待されています。

・ペルチェ素子を用いた温度制御

今日、温度制御は野菜栽培や製品の製造工程、保管などで産業の発展に貢献してきました。しかし、温度制御系は操作量である吸熱と発熱を連続的に変化、切り替えることが可能な操作器が極めて少ないです。そこで、吸熱から発熱までを連続的に変化させることが可能な操作器としてペルチェ素子に注目しました。この特性のため、温度の精緻な制御が可能になることを期待しています。

・ボールビーム系の自己修復PID制御

PID制御系では、センサが故障すると、制御対象の状態を正しく認識できず、適切な制御入力を生成できなくなります。その結果、制御システムが不安定になり、性能が大幅に低下する可能性があります。この問題を解決するため、センサ故障を検知し、修復する機能を組み込んだ自己修復PID制御法を提案しています。また、提案手法をボールビーム系に適応し実機による検証をしています。

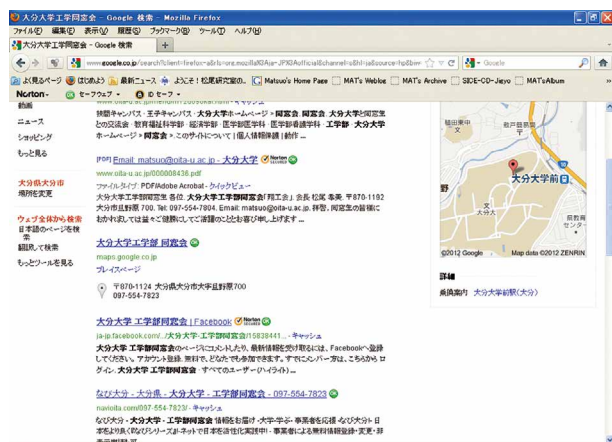
最後に、卒業生皆様のますますのご活躍を心からお祈りします。

大分大学理工学部（工学部）同窓会
Facebookのお知らせ

同窓会副会長 松 尾 孝 美

翔工会のFacebookを、東京支部副支部長の豊田耕一さんに開設していただきました。これから、内容を増やしていきたいと思しますので、どうぞ、ご利用をよろしくお願いいたします。

Googleで、「大分大学工学部同窓会」で検索すると、以下のように、Facebookページを見つけることができます。



翔工会ホームページのお知らせ

・ホームページのURL

※ ホームページのアドレスが変わりました。

<https://www.alumni.oita-u.ac.jp/shokou/>

機関誌PDFをダウンロードできます。

また、住所変更もできます。

・ホームページに関する質問や要望

同窓会活動に関する質問、要望等ございましたら、

shokou-request@oita-u.ac.jp

までご連絡ください。



理工学部ホームページのお知らせ

・ホームページのURL

<https://www.st.oita-u.ac.jp/>

各プログラムのホームページも紹介しております。

今現在の理工学部の様子をぜひご覧ください。



編集後記

機関誌発行委員長 理工学科 電気エネルギー・電子工学プログラム 原 正 佳

翔工第35号の発行に際しまして、ご多忙中にも関わらず、快くご執筆をお引き受け下さいました先生方、卒業生ならびに在校生の皆様に厚くお礼申し上げます。また各部会編集委員、同窓会事務の方々に感謝いたします。

皆様の在学時と学部名含め名称が変わっているかと思います。一度大分大学理工学部のホームページをみられてください。これからも会員相互の情報機関誌として、卒業生と同窓会、また研究室とのつながりを大事にしていきたいと思っております。皆様の近況報告などの寄稿や情報をお寄せいただきますようよろしくお願いします。